

国際問題委員会（小島順彦委員長、高須武男委員長代理）

中東3カ国ミッション

（2007年11月17～23日／アラブ首長国連邦、カタール、オマーン）

Keizaidoyu Express



（写真左）カーシミー アラブ首長国連邦経済相との面談の様相。

（写真右）アティーヤ カタール副首相兼エネルギー・工業大臣との面談の様相。

国 際問題委員会（小島順彦委員長、高須武男委員長代理）は、昨年11月17～23日の日程で中東3カ国（アラブ首長国連邦、カタール、オマーン）にミッションを派遣した。高須武男委員長代理を団長、小島邦夫副代表幹事・専務理事を団長代理、西澤正俊三菱商事取締役常務執行役員を特別顧問に、団員は11名（随員含め19名）であった。

本ミッションは、昨今の中東湾岸地域における著しい発展を受け、この地域に対する理解を深め、コミュニケーションを通じて人的ネットワークの構築を推し進めていくことが重要との観点から派遣された。実質5日間で3カ国・5都市を訪問するハードな日程であったが、各国の多数の要人や現地日本大使らとの面談、マスタープランによる産業多角化の現場の視察などを精力的に行い、全日程を通じて極めて密度の濃いミッションとなった。

中東3カ国ミッション 日程

月日	時刻	活動内容	
11月17日(土)	20:40	東京(羽田)発	
	22:00	関西国際空港着	
	23:15	関西国際空港発	
11月18日(日)	05:55	ドバイ(アラブ首長国連邦)着	ドバイ アブダビ
	10:00	ジュベル・アリ・フリーゾーン(JAFZA)視察	
	12:00	ドバイ・メディア・シティ(DMC)視察	
	13:45	吉村直人三菱商事ドバイ駐在事務所長ブリーフィング	
	15:30	陸路アブダビ(アラブ首長国連邦)へ	
	19:30	波多野琢磨駐アラブ首長国連邦大使主催夕食会	
11月19日(月)	08:30	鎌倉上三菱商事アブダビ駐在事務所長ブリーフィング	ドoha
	10:00	カーシミー連邦経済相との面談	
	11:00	日本人学校附属幼稚園視察(団長ほか3名)	
	12:00	アブダビ投資庁(ADIA)幹部との面談	
	13:00	スウェディ アブダビ計画経済庁長官との面談	
	14:30	ムバラク ムバダラ開発総裁との面談	
	15:30	出光興産・緑化プロジェクト視察	
	23:15	アブダビ発	
	23:10	ドーハ(カタール)着	
	11月20日(火)	08:45	
09:30		アリ都市計画開発庁長官との面談	
10:30		PCI*ブリーフィング	
11:00		タミーム皇太子殿下表敬(団長、団長代理、特別顧問)	
12:15		アティーヤ副首相兼エネルギー・工業大臣との面談	
13:00		北爪由紀夫駐カタール大使主催昼食会(大使公邸)	
14:20		アルジャジーラ放送局視察	
16:00		カタール新ドーハ国際空港建設現場視察	
20:20		ドーハ発	
22:35		マスカット(オマーン)着	
11月21日(水)	08:00	大森敬治駐オマーン大使主催朝食懇談会	マスカット
	10:00	マッキー国家経済相兼財政・エネルギー評議会副議長との面談	
	11:30	ラージハ観光相との面談	
	12:15	マクブール商工相との面談	
	12:45	マクブール商工相主催昼食会	
	15:00	ダウ船乗船・視察(終了後、高須団長離団)	
	20:00	ズベール・オマーン国王顧問主催夕食会	
11月22日(木)	07:00	マスカット発	ソハール ドバイ
	09:30	ソハール(オマーン)着、ソハール港視察	
	12:30	ソハール発	
	18:00	ハッタ(アラブ首長国連邦)経由、ドバイ着	
	18:00	小林弘裕駐ドバイ総領事主催夕食会	
11月23日(金)	02:50	ドバイ発	ドバイ
	16:40	関西国際空港着	
	18:35	関西国際空港発	
	19:45	羽田空港着	

※パシフィックコンサルタンツインターナショナル

INTERVIEW

環境、教育、人材育成に課題 ソフト支援への期待は大きい

中東3カ国ミッション団長 高須武男氏

原油高や金融市場における政府系ファンドの存在感など、中東諸国が脚光を浴びています。しかし、中東諸国について日本で入手できる情報は多くありません。そのため、今回のミッションには、「中東の現状を経済人の目で実際に見てくる」という意味もありました。

実際に訪れてみて感じたのが、「躍動感」です。砂漠に囲まれた本当に狭いエリアに高層ビルが所狭しと林立している光景、緑豊かな街並みには大変驚きました。総じて都市の緑化、環境へ



西日に高層ビル群のシルエットが浮かび上がる
(ドバイ)

の関心は高いようで、アブダビでは緑化プロジェクトの現場を視察し、オマーンではラージハ観光相などから文化や歴史、自然を生かした国づくりについて話を伺いました。ただし、一方では、どの国も飛行機で行けば1時間くらいのところにあるのに、同じような考えで同じようなことをしているのは少し気になりました。

中東諸国に共通する課題としては、①アラブ人と外国人の格差（貧富の差、待遇の差）、②オイルマネーの恩恵を受けているため若者が勤労意欲に乏しい、③施設・設備といったハードの豪華さに対してソフトが追いついていない、ということが挙げられるでしょう。こうした課題の解決に対する日本への期待には大きなものがあります。特に、環境、教育、人材育成といった



経済
同友
会最
前線



近代的な放送設備がそろっているアルジャジーラ放送局（ドーハ）

分野には特段の期待があり、まさに今、中東の発展に日本がどんなお手伝いができるのかが問われています。今後、平和への貢献を含め、官民のさまざまな階層で中東諸国との人的交流を継続的に積み上げていかなければならないと思います。

団員名簿（敬称略）

団 長

高須 武男 国際問題委員会 委員長代理
(パンダイナムコホールディングス 取締役社長)

団長代理 (11月21日夕刻に高須団長が離団のため、以降団長を務める)

小島 邦夫 経済同友会 副代表幹事・専務理事

特別顧問

西澤 正俊 (三菱商事 取締役常務執行役員)

副団長/国際問題委員会 副委員長

清田 瞭 (大和証券グループ本社 取締役副会長)

渋谷 健 (シブサワ・アンド・カンパニー 代表取締役)

竹中 哲也 (日本航空 常務取締役)

団 員

井上 明義 (三友システムアプライザル 代表取締役)

門脇 英晴 (日本総合研究所 理事長)

高坂 節三 (日揮 取締役)

瀬山 昌宏 (インターエックス 取締役社長)

廣瀬 駒雄 (ジョイント・コーポレーション 取締役)

スタッフ

山中 哉 (三菱商事 国際戦略研究所 企画チームマネジャー)

山室 潤 (大和証券グループ本社 秘書室 次長)

伊藤 清彦 (経済同友会 執行役)

ほか、通訳、添乗員5名